

## 第2回 物語文(2)

❖ことばの学習❖

(1) 次のじゅく語に読みがなをつけなさい。また、これらのじゅく語を国語辞典で引くと、どのような順じょにならんでいますか。

(1)	エ	ウ	イ	ア	灯台	( )
(2)	エ	ウ	イ	ア	百聞	( )
(1)	エ	ウ	イ	ア	表紙	( )
(2)	エ	ウ	イ	ア	必要	( )
(1)	エ	ウ	イ	ア	病室	( )

(2) ことばの意味を知りたいときは、言い切りの形で調べます。次の

線部のことばを国語辞典に出ている形にして書きなさい。  
〔例〕質問に答えてからすわりなさい。

- (1) 小さいころ、川に落ちた。
- (2) 母がおいしいパンを作ってくれた。
- (3) 新しく家を建てよう。

(3)	次	の漢字	の部首名	と、	総画数	を書きなさい。
(1)	徒	( )	( )	( )	( )	( )
(2)	副	( )	( )	( )	( )	( )
(3)	選	( )	( )	( )	( )	( )
(4)	庫	( )	( )	( )	( )	( )
(5)	園	( )	( )	( )	( )	( )

1 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

「早く峠越えるべ。雪降つてくるじよ。」

ところがちょうどそのときです。まっしろに光っている白いそらに暗くゆるやかにつらなつていた峠の頂の方ヶ少しほんやり見えてきました。そしてまもなく小さな小さな乾いた雪のこなが、少しばかりちらつちらつと二人の上から落ちてまいりました。

「さあ楕夫、早ぐのぼれ、雪降つてきた。上々行けば平らだはんて。一郎が心配そうにいいました。

楕夫は兄の少し変った声を聞いてにわかにあわてました。そしてまるでせかせかとのぼりました。

「あんまり急ぐな。大丈夫だはんて、なあにあど一里も無いも。」

④ 一郎も息をはずませながらいいました。けれどもじつさい二人とも急がずにおられなかつたのです。眼の前もくらむように急ぎました。あんまり急ぎすぎたのでそれはながくづきませんでした。雪がまつたくひどくなつて、きた方も行く方もまるで見えず、二人のからだもまつ白になりました。そして楕夫が泣いていきなり一郎にしがみつきました。

「戻るが、楕夫。戻るが。」

一郎も困つてそういうながらきた下の方をちょっと見ましたが、とてももう戻ろうとは思われませんでした。それはきた方がまるで灰いろで穴のようにくらく見えたのです。

(宮沢賢治『ひかりの素足』)

問一 線ア～ウの漢字の読みをひらがなで書きなさい。

The diagram consists of three separate rectangular boxes arranged vertically. The top box is labeled with circled ④ in the top-left corner. The middle box is labeled with circled ⑤ in the top-right corner. The bottom box is labeled with circled ⑥ in the bottom-right corner.

**問二** 線A・Bのことばの意味としてよいものを次から選び、それ記号で答えなさい。

- |                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| B                      | A                            |
| ウ                      | ア                            |
| ア                      | ウ                            |
| 変 <small>へん</small> に。 | 山道を登りつめた所。                   |
| だんだんと。                 | 平らで広々とした所。                   |
| 工                      | イ                            |
| ひじょうに。                 | 急に。                          |
| 工                      | イ                            |
| ひじょうに。                 | 山のてっぺん。                      |
|                        | 山が続 <small>つづ</small> いている所。 |

つかれて体が思うよう<sup>よ</sup>に動かない様子。  
おどろいてわれをわすれている様子。  
のんびりと落ちついている様子。

(3)

イ ウ イ ウ エ ウ イ  
ア ウ イ ウ イ ウ エ  
大きく息をすいこむ様子。  
息がはげしくなった様子。  
息ができなくなつた様子。

エ 気持ちが落ちついている様子。

一線④ 「急がずにおられなかつた」のはなぜですか。よいも

ア 雪が降り出したので不安になり、少しでも早く目的地に着きたいと思つたから。

イ  
おたがいに相手よりも先に峰に着いたかつたから。  
ウ もう少しで峰なのがうれしくて、あらたな力がわいてきたか  
ら。

**工** 夕方になり、辺りがだいぶ暗くなつたから。  
**問六** 雪の降り方がはげしくなつたことがわかる一文を、文中から書きぬきなさい。

問三　——線①「少し変った声」とありますか、一郎の声が少し<sup>か</sup>変わつたのはなぜですか。よいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 楢夫の歩くのがおそいので、はらが立つてきたから。

イ のぼり坂が急なため、つかれてきたから。

ウ 峰に着く前に雪が降り始めたので、心配になつたから。

エ 峰の頂が見えたので、安心したから。

1

問七　一線⑤「とてももう戻ろうとは思われませんでした」とあり

問四  
縞(2)  
——也か也かと  
息をはすま也  
は  
とんな様子

(2) ア いそがしそうで落ちつかない様子。  
を表していますか。よいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

# 補充講座

## 漢字・言語・文法

1 〈漢字の読み書き〉 次の一線部の漢字の読み方をひらがなで、かたかなを漢字で書きなさい。

- ① 鼻をつまむ。  
 ② 不利な立場になる。  
 ③ 太陽がさんさんと照る。  
 ④ 実験の結果をまとめる。  
 ⑤ 空がクラくなってきた。  
 ⑥ みかんのカワをむく。  
 ⑦ 借りた本を力工す。  
 ⑧ 物語を読んで泣く。  
 ⑨ 森に鳥を放す。  
 ⑩ 自転車にノる。  
 ⑪ ことばのイミを調べる。  
 ⑫ 木の葉がオちる。

2 〈音読み・訓読み〉 次の漢字の音読みと訓読みをそれぞれひらがなで書きなさい。

- |     |     |     |
|-----|-----|-----|
| ① 歯 | ② 橋 | ③ 波 |
| 音   | 音   | 音   |
| 訓   | 訓   | 訓   |

3 〈音読み・訓読み〉 次の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

(3) 家路  
 (1) 線路  
 (2) 黄緑  
 (1) 新緑

(4) 炭火  
 (1) 木炭  
 (2) 岩場  
 (1) 岩石

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ④ | ③ | ② | ① |
| ア | ア | ア | ア |
| ① | ① | ① | ① |

#### 4

**〈国語辞典の引き方〉** 次のじゅく語を国語辞典で引くと、どのよう  
な順じょにならんでいますか。出でいる順に記号をならべなさい。

(1)	ウ	イ	ア	外貨
エ			開花	絵画
			海外	

(2)	ウ	イ	ア	商品
エ			消化	使用
			集会	

(3)	ウ	イ	ア	横転
エ			屋上	大声
			王室	

#### 5

**〈言い切りの形〉** 次の一線部のことばを言い切りの形（国語辞典）  
に出でいる形）にしなさい。

**例** 友達に手紙を書きました。 答え 書く

(4)	(1)			
(5)	(2)			
(6)	(3)			

(3)	(2)	(1)		
↓	↓	↓		
(3)	(2)	(1)		
↓	↓	↓		
(3)	(2)	(1)		
↓	↓	↓		
(3)	(2)	(1)		

#### 7

**〈総画数〉** 次の漢字の総画数を算用数字で書きなさい。

(5) (1)	葉 新	(11)	(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
(5)	画	(1)	画				
(6) (2)	級 記						
(6)	画	(2)	画				
(7) (3)	医 院						
(7)	画	(2)	画				
(8) (4)	泳 第						
(8)	画	(4)	画				

(12)	(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
(12)	(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
(12)	(10)	(8)	(6)	(4)	(2)

#### 6

**〈部首〉** 次の漢字の部首名をひらがなで書きなさい。

(9) (5) (1)	病 热 完	(2)	便	(3)	頭	(4)	原
(10) (6)	部 開	(7)	速	(8)	雲	(9)	起
(11)		(12)		(13)		(14)	

**8** 「ことば」 次の——線部のことばが指していることばを書きなさい。

- ① 朝、おにぎりを作った。ぼくは、それを持つて出かけた。
- ② 妹が絵本を大切にしている。それは、ぼくがあげたものだ。
- ③ 待合室に行つてください。そちらに飲み物を用意してあります。
- ④ 母は、坂の上の公園が好きだ。そこから富士山が見えるからだ。

①	□
②	□
③	□
④	□
⑤	□

**12** 「にた意味のことば・反対の意味のことば」 ①はにた意味のことばを、②は反対の意味のことばを漢字で書きなさい。

①	昨年
②	成功

**9** 「つなぎことば」 次の( )にあてはまることばとしてよいものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 今日は頭がいい。( ), 学校を休んだ。
- ② 兄はサッカーが得意だ。( ), 野球も上手だ。
- ③ 鳥の鳴き声が聞こえる。( ), 鳥のすがたは見えない。
- ④ 成せきが上がった。( ), 一生けんめ勉強したからだ。
- ⑤ 自転車で行きますか。( ), バスで行きますか。

ア それとも イ だから ウ しかし  
エ そのうえ オ なぜなら

**11** 「反対の意味のことば」 次のことばと反対の意味のことばをあとから選び、漢字で書きなさい。

- |        |             |
|--------|-------------|
| ④ ① 幸福 | ② ③ ⑤ ⑥     |
| 部分     | 乗車 点火<br>愛信 |

しょうか  
ぜんたい  
じりき  
はつしん  
ふこう

④	□
①	□
⑤	□
②	□
⑥	□
③	□

**10** 「にた意味のことば」 次のことばとにた意味のことばをあとから選び、漢字で書きなさい。

- |        |               |
|--------|---------------|
| ④ ① 向上 | ② ③ ⑤ ⑥       |
| だいじ    | ちょうしょ<br>しんせつ |

び  
漢字で書きなさい。  
美点  
案外  
重要  
利用  
厚意  
かつよう  
いがい

④	□
①	□
⑤	□
②	□
⑥	□
③	□

## 13

**〈慣用句〉** 次の——線部のことばの意味としてよいものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ①わたしの服そ<sup>う</sup>を見たおじは「目が高<sup>い</sup>いね。」と言つた。  
②ぼくは、みんなの目をぬすむようにして、会場を出た。  
③おもしろい話を小耳にはさむ。

④勝利を目指して、歯をくいしばる。

⑤父は、お使いに出かける兄に「油を売るなよ。」と言つた。

⑥両親が「ねこの手も借りたいよ。」とぼくに言つた。

⑦ア人に見られないようにこつそりとする。

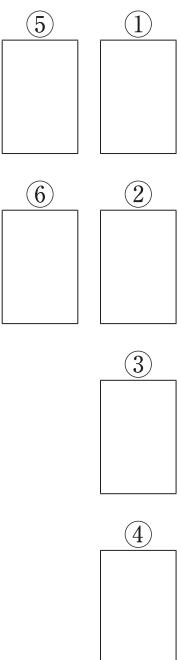
⑧イまだ話などをして、仕事をなまける。

⑨ウ苦しいことやつらいことをじつとがまんする。

⑩エ見分ける力がすぐれている。

⑪オいそがしくて、人手が足りない。

⑫カちらつと聞く。



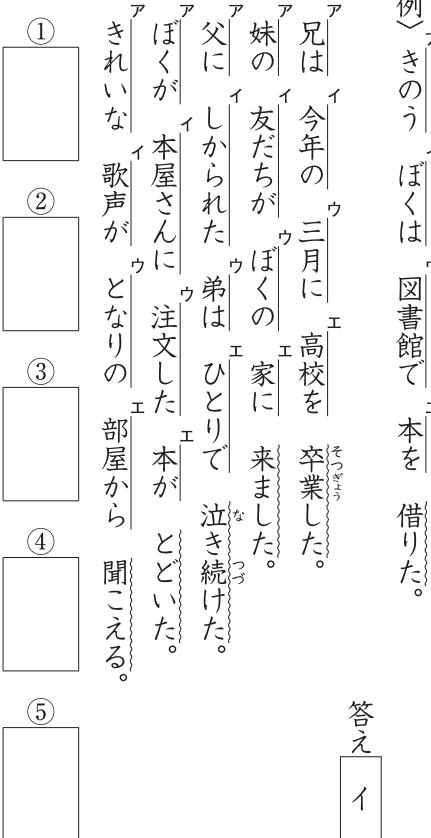
## 14

**〈かかり受け〉** 次の——線部のことばをくわしくしていることばを書きぬきなさい。

〈例〉となりの おばさんは とても 親切な 人だ。

答え となりの

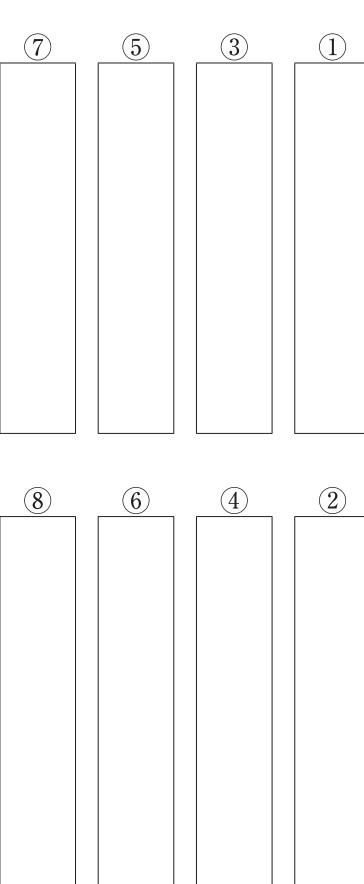
- ①すずしい 風が まどから 入つてくる。  
②わたしが 住んで いる 町には 有名な お寺が あります。  
③ぼくは 白い 犬を 二ひき かっています。



## 15

**〈主語〉** 次の文の——線部のことば(述語)に対し、「だれが(何が)」にあたることば(主語)を、それぞれのア～エから選び、記号で答えなさい。

〈例〉きのう ぼくは 図書館で 本を 借りた。



④ぼくは 庭の ひまわりに 水を やつた。  
⑤小さな 妹が すやすやと ねむる。

⑥算数と 国語の 宿題が ようやく 終わった。  
⑦セキセイインコの 親子が 元気に 鳴いている。

⑧わあわあと 会場中の 人が さわぎ出した。